

ワーキングホリデーで来日して日本に惹かれ、現在は川崎市国際交流員として活躍されているマシューさんに、カナダや日本の魅力、取り組んでいきたいことなどを伺いました。



カナダ

面積 9,985,000km²
人口 3,699万人
首都 オタワ
言語 英語、フランス語

Q1 出身のカナダについて

カナダは、移民を積極的に受け入れていて、さまざまな食文化が入り混じった国です。香港が中国に返還された1997年頃、香港から料理人の移住が増え、アジア系食材が流通し、多国籍料理のレストランも増えました。

豊かな自然がある一方で、都市化も急速に進む中、SDGsへの関心も高いです。

Q2 カナダで、おすすめしたい場所は？

イエローナイフ(ノースウエスト準州の州都)をぜひおすすめしたいです。決してアクセスが良いとは言えませんし、本当に寒いところですが、自然は息をのむほど素晴らしいです。一年のうち半年以上はオーロラを見ることができ、犬ぞりを引くハスキー犬と遊んだり、凍った池の上を歩いたり、他ではなかなかできない体験ができますよ。



(赤い防寒着を着ているのはマシューさん) イエローナイフ

Q3 香港で生まれて…

小学校4年生まで、香港で過ごしました。住まいの近くに日本の会社やデパートがあり、ドラえもんやセーラムーンなどのアニメもテレビで見て、日本に親近感を持ちました。

カナダの大学では東アジアの食文化とソフト・パワー^(注1)を専攻したのですが、それは香港で過ごした子ども時代からアジアの文化に関心を持ち始めていたからだと思います。

(注1) 文化の魅力や価値観などによって、他の行動や考えに影響を与える力
2023年「ソフト・パワー・ランキング」(英ブランド・ファイナンス社)によると、日本は世界121カ国中4位(アジアでは1位)。

Q4 日本に来たきっかけは？

2015~16年にワーキングホリデーで日本に来て、沖縄ではマリナスタッフ、長野ではスキー場スタッフとして働きました。沖縄では、夜に海ほたるがきらめくところや、太陽が海に沈む直前に緑色の閃光を放つ「グリーンフラッシュ」などの美しい景色に感動しました。



沖縄でのワーキングホリデー (右から2番目がマシューさん)

(注2) 日本政府による「語学指導等を行う外国青年招致事業」。外国語指導助手、国際交流員、スポーツ国際交流員などの職種がある。

の美しい景色に感動しました。親切な田舎の人々の魅力にも惹かれて、カナダに戻ってからJETプログラム^(注2)(日本に外国人を招く事業)に応募しました。

Q5 日本文化で好きなものは？

食文化で言えば、ホルモンです。海外にもありますが、日本のホルモンは全然違って美味しいです。食べ物以外では、音楽ですね。ロックバンドのX JapanやL'Arc~en~Cielが好きです。

Q6 行ってみたいところは？

日本以外ならヨーロッパ。仕事や短い旅行で訪ねたことはありますが、もっと深く知りたいと思います。日本国内では、短い旅行も含めれば、これまで20の都道府県に行ったことがありますが、次は四国や九州に行きたいです。四国ではうどんなど、その土地の食文化に触れ、温泉も楽しみたいです。

Q7 川崎市役所でのお仕事について

行政文書や出版物の翻訳、市役所に来た人の通訳などをしています。日本語のコミュニケーションは、一つの言葉に複数の意味があったり、英語に直訳できない表現が多いことなどが難しいと感じます。言葉を省略することもありますし、敬語も難しいですね。



Q8 これから取り組みたいこと

日本語を母語としない外国人にも見やすいWebサイトなど、ユーザーインターフェース(UI)^(注3)/ユーザーエクスペリエンス(UX)^(注4)向上に取り組みたいです。日本の官公庁や企業のWebサイトは文字が多く、情報を探しづらいと感じています。その国の言葉が読めなくても、わかりやすいWebデザインやピクトグラム^(注5)を取り入れ、皆が見やすいサイトにして、国際連携に貢献したいです。また、Webに限らず、年齢や国籍に関係なく皆が自分の可能性を広げられるような活動も進めたいと考えています。

(注3) 利用者と製品・サービスとの接点のこと。見た目や使いやすさなど。

(注4) 利用者が製品・サービスを通して得る体験のこと。使いやすさの他に、利用者が受ける感動や印象なども含まれる。

(注5) 文字の代わりに案内・注意情報を単純な絵・図形で示したもの。「絵文字」「絵ことば」。